

# 2018年3月期決算 決算説明会

株式会社 **トクヤマ**  
2018年4月27日



## 2018年3月期決算のポイント

- 18年3月期はほぼ全ての製品でフル生産が続き、営業利益は過去最高の412億円を達成。さらに連結納税制度適用により親会社株主に帰属する純利益は、業績予想を30%上回る196億円。
- 19年3月期は資源価格高騰による原燃料価格上昇により減益を予想。
- 優先株の取得・消却に加えて1年間に740億円の有利子負債を返済したことにより、D/Eレシオは期首の1.7から1.1へと財務体質の改善が進行。
- 中期経営計画は予定通り進捗。

# CONTENTS

- 1 2018年3月期 決算
- 2 2019年3月期 業績予想
- 3 中期経営計画の進捗
- 4 補足資料

# **1** 2018年3月期 決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析

## 1. 決算概要

(億円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	2,991	3,080	+89	+3	苛性ソーダ及び石化製品の価格是正と販売数量増加
営業利益	385	412	+27	+7	苛性ソーダ及び石化製品の価格是正 トクヤママレーシアの連結除外
経常利益	339	361	+21	+6	営業利益の増加
親会社株主に 帰属する 当期純利益	521	196	△324	△62	繰延税金資産計上額の減少 トクヤママレーシアの事業譲渡損計上
1株当たり 当期純利益(円)	738.92	259.81	-		-
為替(円/\$)	108	111	-		-
国産ナフサ価格 (円/kl)	34,700	41,900	-		-

## 1. 決算概要

(億円)

	2017年 3月末	2018年 3月末	増 減	主要な変動要因
総資産	4,244	3,619	△624	社債、長期借入金の返済による 現預金の減少
自己資本	1,270	1,256	△13	優先株の消却 当期純利益の積上げ
自己資本比率	29.9%	34.7%	+4.8ポイント	-
有利子負債	2,139	1,399	△740	社債、長期借入金の減少
D/Eレシオ	1.68	1.11	△0.57	-
ネットD/Eレシオ*	0.73	0.58	△0.15	-
1株当たり純資産 (円)	1,527.42	1,806.56	-	-

\*ネットD/Eレシオ: (有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託)／自己資本

## 2. セグメント別売上高／営業利益

(億円)

	2017年3月期		2018年3月期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	833	129	935	161	+102	+12	+31	+24
特殊品	677	92	586	110	△90	△13	+17	+19
セメント	829	75	873	45	+43	+5	△29	△40
ライフアメニティー	507	53	515	37	+8	+2	△16	△31
その他	521	59	545	62	+24	+5	+2	+4
計	3,369	411	3,456	416	+87	+3	+5	+1
セグメント間 消去・全社費用	△378	△25	△376	△4	+2	-	+21	-
連結決算	2,991	385	3,080	412	+89	+3	+27	+7

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

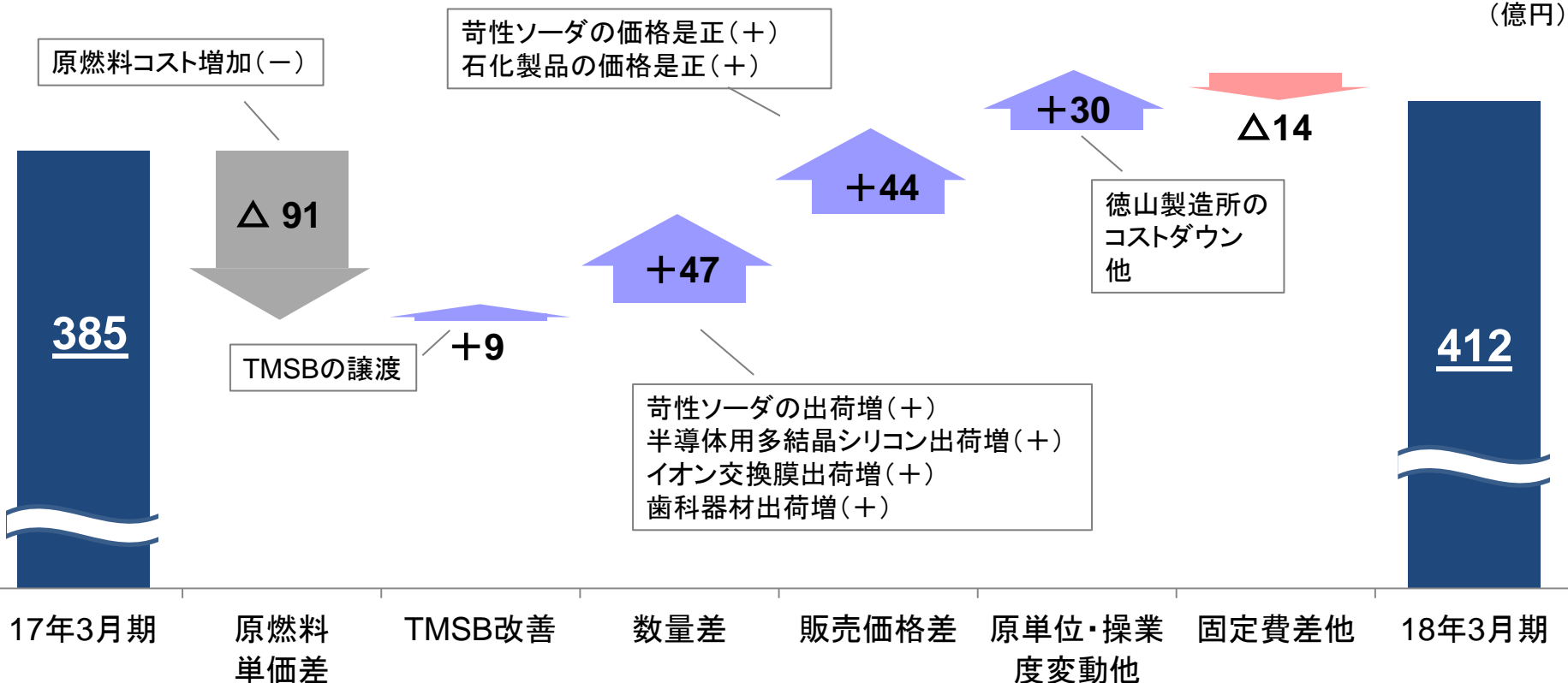
トクヤママレーシア	139	△16	16	△6	△123	-	+9	-
-----------	-----	-----	----	----	------	---	----	---

\* 2017年3月期は2016年4月～2017年3月、2018年3月期は2017年4月～5月の損益を表示。

# 3. 営業利益増減分析

(対前期比)

(億円)



\*TMSB: トクヤママレーシア



## **2** 2019年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想
3. 営業利益増減分析
4. 今後の事業環境と取り組み
5. 投資計画

② 2019年3月期 業績予想

# 1. 業績予想

(億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	増減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,080	3,280	+199	+6	苛性ソーダ及び石化製品などの価格 是正と販売数量増加
営業利益	412	380	△32	△8	原燃料価格上昇による製造コスト増加
経常利益	361	340	△21	△6	営業利益の減少
親会社株主に 帰属する 当期純利益	196	270	+73	+37	特別損益の改善
1株当たり 当期純利益(円)	259.81	388.15	-	-	-
為替(円/\$)	111	110	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kl)	41,900	48,000	-	-	-

## 2. セグメント別業績予想

(億円)

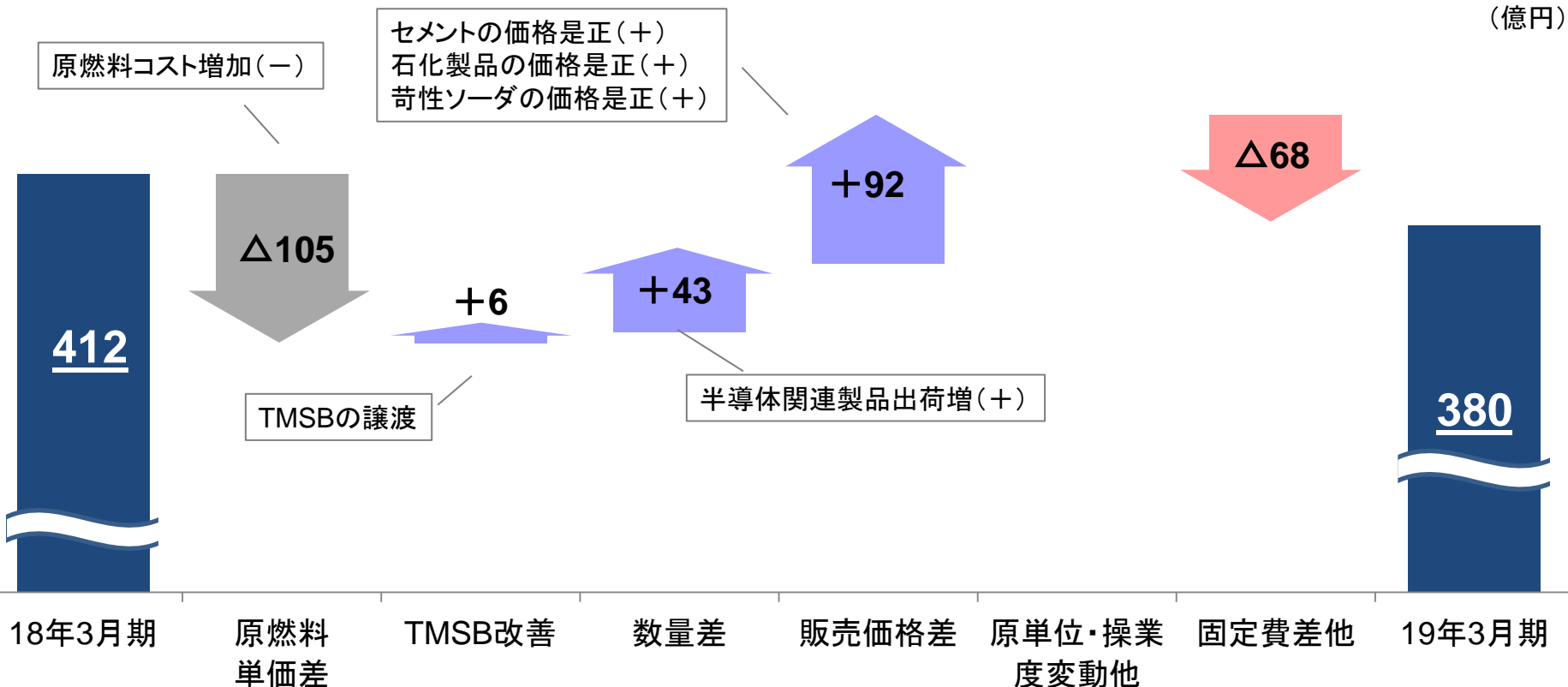
	2018年3月期実績		2019年3月期予想		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	935	161	1,020	180	+84	+9	+18	+11
特殊品	586	110	630	110	+43	+7	△0	△0
セメント	873	45	930	45	+56	+6	△0	△1
ライフアメニティー	515	37	560	30	+44	+9	△7	△20
その他	545	62	540	35	△5	△1	△27	△44
計	3,456	416	3,680	400	+223	+6	△16	△4
セグメント間 消去・全社費用	△376	△4	△400	△20	△23	-	△15	-
連結決算	3,080	412	3,280	380	+199	+6	△32	△8

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

# 3. 営業利益増減分析

( 対 当 期 比 )

(億円)



\*TMSB: トクヤママレーシア

## 4. 今後の事業環境と取り組み

	事業環境	取り組み
化成品	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 原油、石炭などの原燃料コストが増加</li><li>■ 苛性ソーダの国内外の需給は引き続きタイト</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 販売価格是正</li><li>■ 苛性ソーダの輸出強化</li></ul>
特殊品	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 半導体は、電子機器向けに好調</li><li>■ 高品質化と安定供給に対する要求の高まり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 高品質化対応による差別化</li><li>■ 需要に応じた生産供給体制の強化</li></ul>
セメント	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 石炭などの原料コストが増加傾向</li><li>■ 内需はほぼ前年度並みにとどまると予想</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 販売価格是正</li><li>■ 製造コストの徹底した削減</li><li>■ セメントの輸出強化</li></ul>
ライフ アメニティー	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 高齢化の進展などによる健康志向の高まり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 顧客のニーズや市場の変化に対応した開発・販売活動に注力</li></ul>

## 5. 投資計画

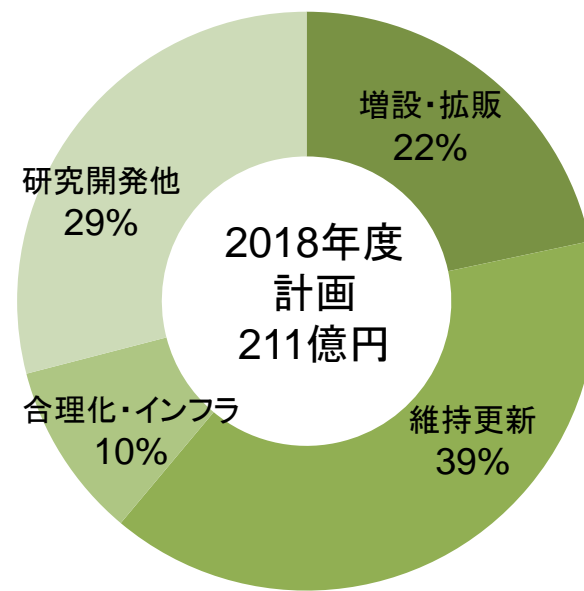
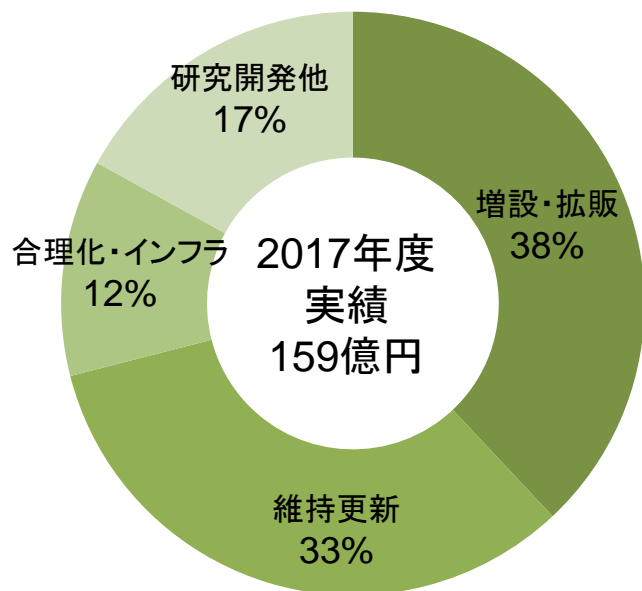
連 結

(億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	増 減
設備投資額	159	211	+51
減価償却費	139	153	+13
研究開発費	79	95	+15

# 5. 投資計画

## 設備投資の内訳



### 主な成長投資案件

半導体関連材料の品質改善投資

窒化アルミ粉末増産

(サン・トックス)ホリオレフィンフィルム最新鋭設備導入

(A&T)江刺工場増設

(周南バルク)置場の拡張

窒化アルミ粉末・顆粒増産

TMAH増強

徳山製造所港湾の増強

半導体関連材料の品質改善投資

(台湾徳亞瑪)第2工場建設

## **3** 中期経営計画の進捗

1. 目標数値の進捗
2. 重点課題の成果と今後の施策
3. 成長事業の取り組み
4. 伝統事業の取り組み
5. 財務体質改善
6. 配当





### 3 中期経営計画の進捗

## 1. 目標数値の進捗

	2015年度	2017年度	2020年度 目標値	進捗評価
売上高	3,071億円	3,080億円	3,350億円	計画通り進捗
営業利益	230億円	412億円	360億円	達成済、維持
ROA	5.7%	10.5%	10%	計画通り進捗
売上高 営業利益率	7.5%	13.4%	10%	
総資産回転率	0.77回転	0.78回転	1.0回転	
財務指標	CCC	69日	55日	計画通り進捗
	D/Eレシオ	4.7倍	1.1倍	1倍
為替(¥/US\$)	120	111	110	
国産ナフサ価格(¥/kI\$)	42,800	41,900	58,000	

注: CCC(キャッシュコンバージョンサイクル): 売掛債権回転日数 + 棚卸資産回転日数 - 買入債務回転日数、

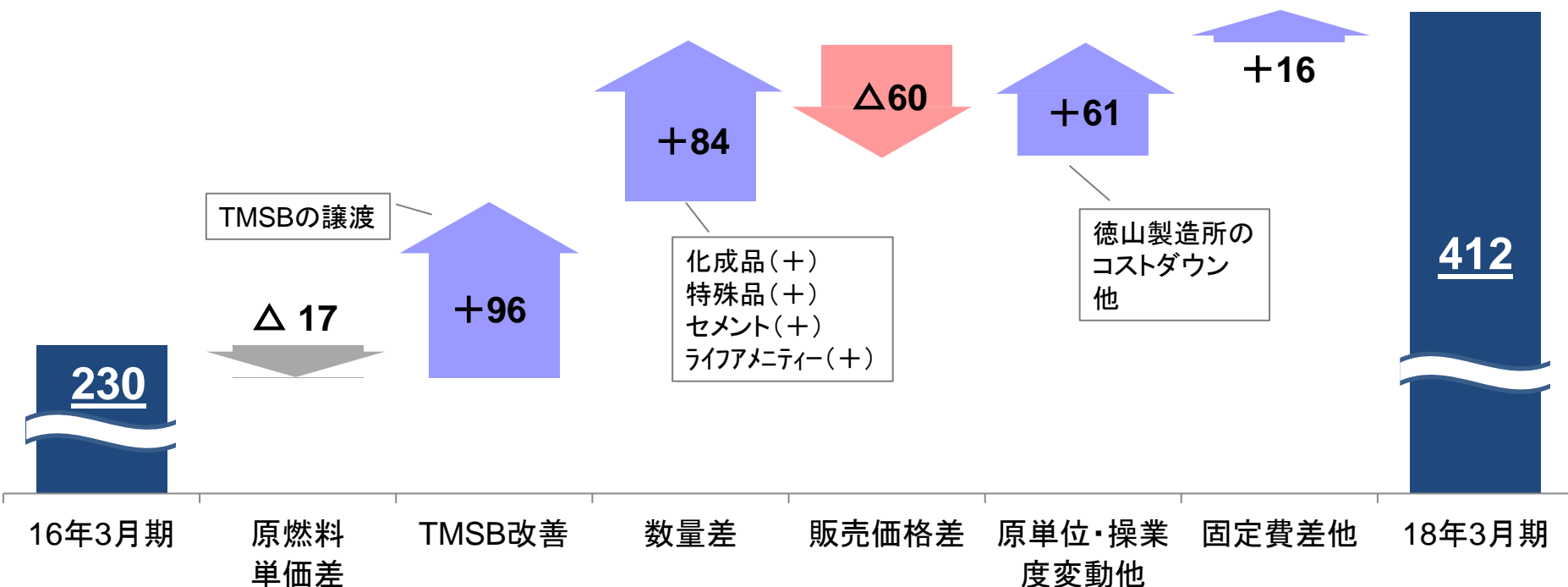
ROA: 営業利益/総資産で算出

### 3 中期経営計画の進捗

## 1. 目標数値の進捗

### 要因別営業利益増減(2年間の進捗)

(億円)



\*TMSB: トクヤママレーシア

## 2. 重点課題の成果と今後の施策

### 2017年度の成果

### 2018年度の施策

#### 組織風土の変革

- 基幹職人事制度の運用
- 社外人材の積極登用

- シニア社員人事制度の運用
- 総合人事制度の改定
- 社外人材の積極登用(継続)

#### 事業戦略の再構築

- 高純度窒化アルミニウム粉末の増設完了
- 台湾における電子工業用高純度薬品の能力増強決定

- 半導体用多結晶シリコンの品質差別化
- 放熱材製品群のラインナップ拡充
- ヘルスケア関連製品の海外展開加速
- IoT、AI活用による業務効率化、プラント運営効率化

#### グループ経営の強化

- トクヤママレーシアの譲渡完了
- 化成品子会社の資本構成見直し

- 微多孔質フィルム中国2社、エクセルシャノンの収益改善
- 新事業評価制度の運用開始

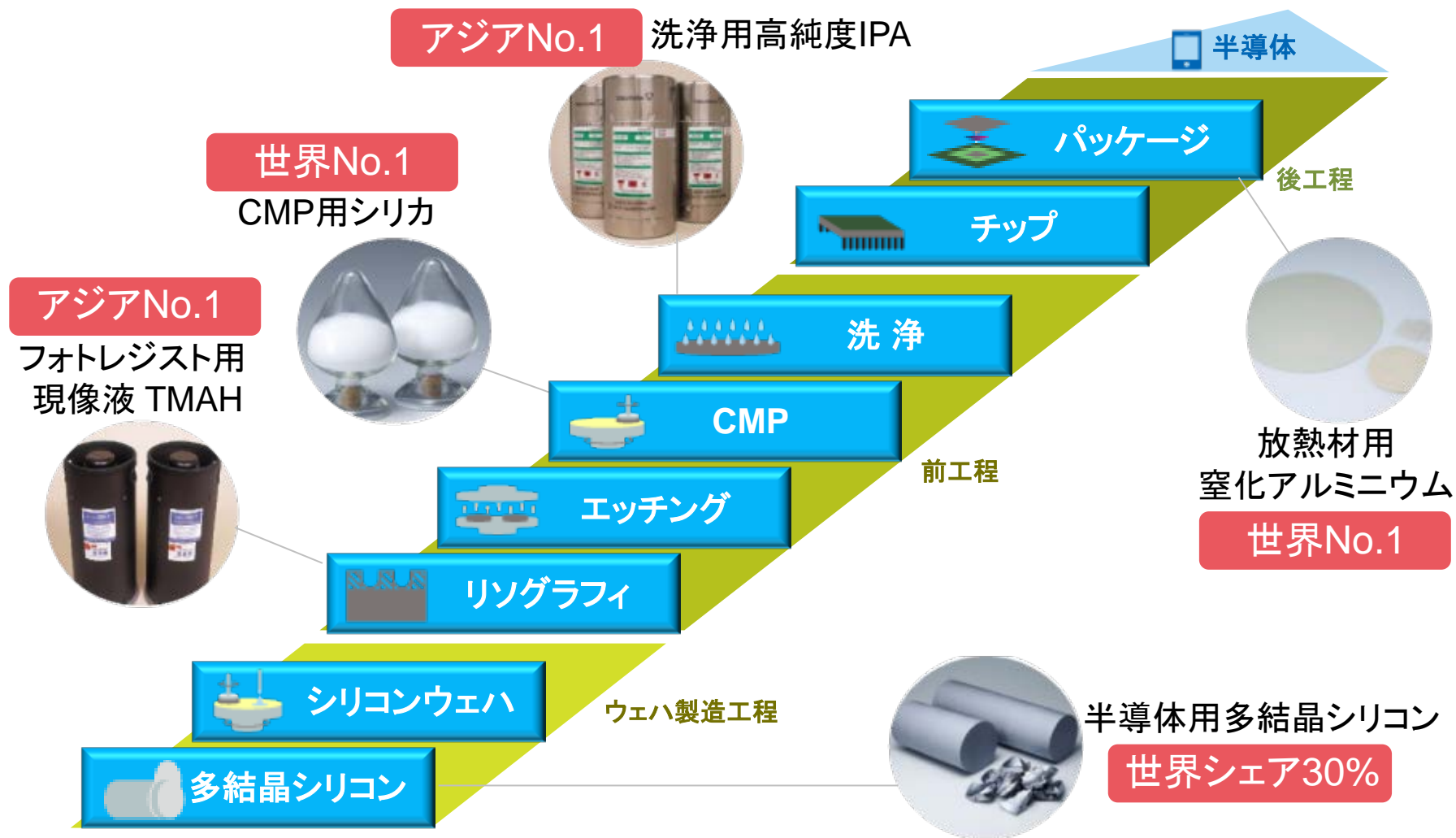
#### 財務体質改善

- 優先株償還
- 有利子負債740億円削減

- 有利子負債の削減継続、金利負担軽減
- 劣後ローンの対応

# 3. 成長事業の取り組み

## ICT関連製品



## 3. 成長事業の取り組み

### ICT関連製品

多結晶シリコン	■ フル生産維持
フォトレジスト用 現像液 TMAH	■ フル生産維持 ■ 増産の検討
洗浄用高純度IPA	■ 台湾第2工場建設による供給体制の強化 ■ 工業用IPAとのバランス調整による販売数量増
乾式シリカ	■ CMP用途製品の販売数量増、価格是正 ■ 電子産業関連(トナー、液晶パネル部材など)のシリカ製品の拡充
放熱材	■ 能力増強 ■ 製品ラインナップ拡充

### 3 中期経営計画の進捗

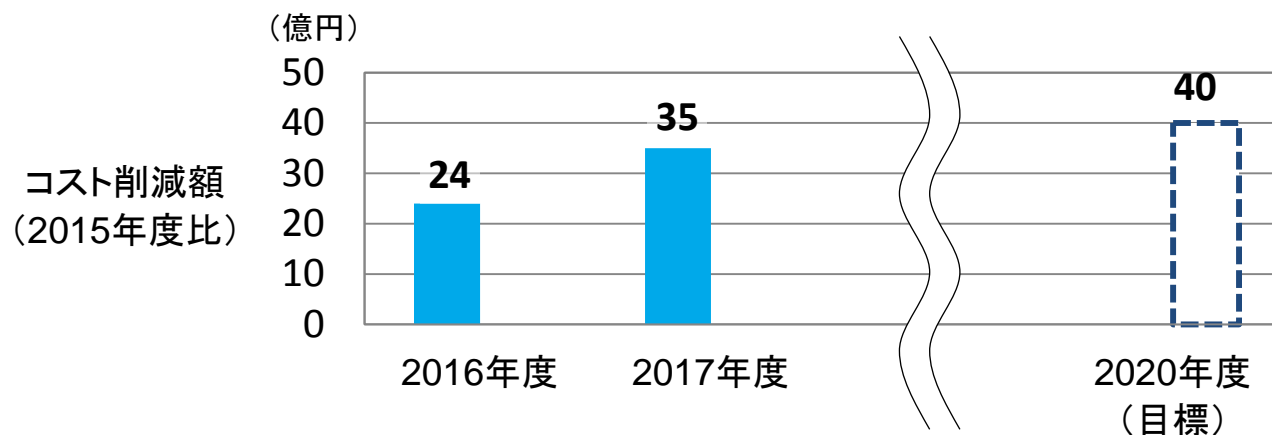
## 4. 伝統事業の取り組み

### ■ 価格是正

セグメント	製品	値上げ打出し幅	時期
化成品	液体苛性ソーダ	22円/kg以上	2018年1月16日出荷分
	IPA（工業用）	30円/kg以上	2018年1月1日出荷分
	塩ビ（PVC）	15円/kg以上	2018年2月15日出荷分
セメント	セメント	1,000円/t以上	2018年4月1日出荷分

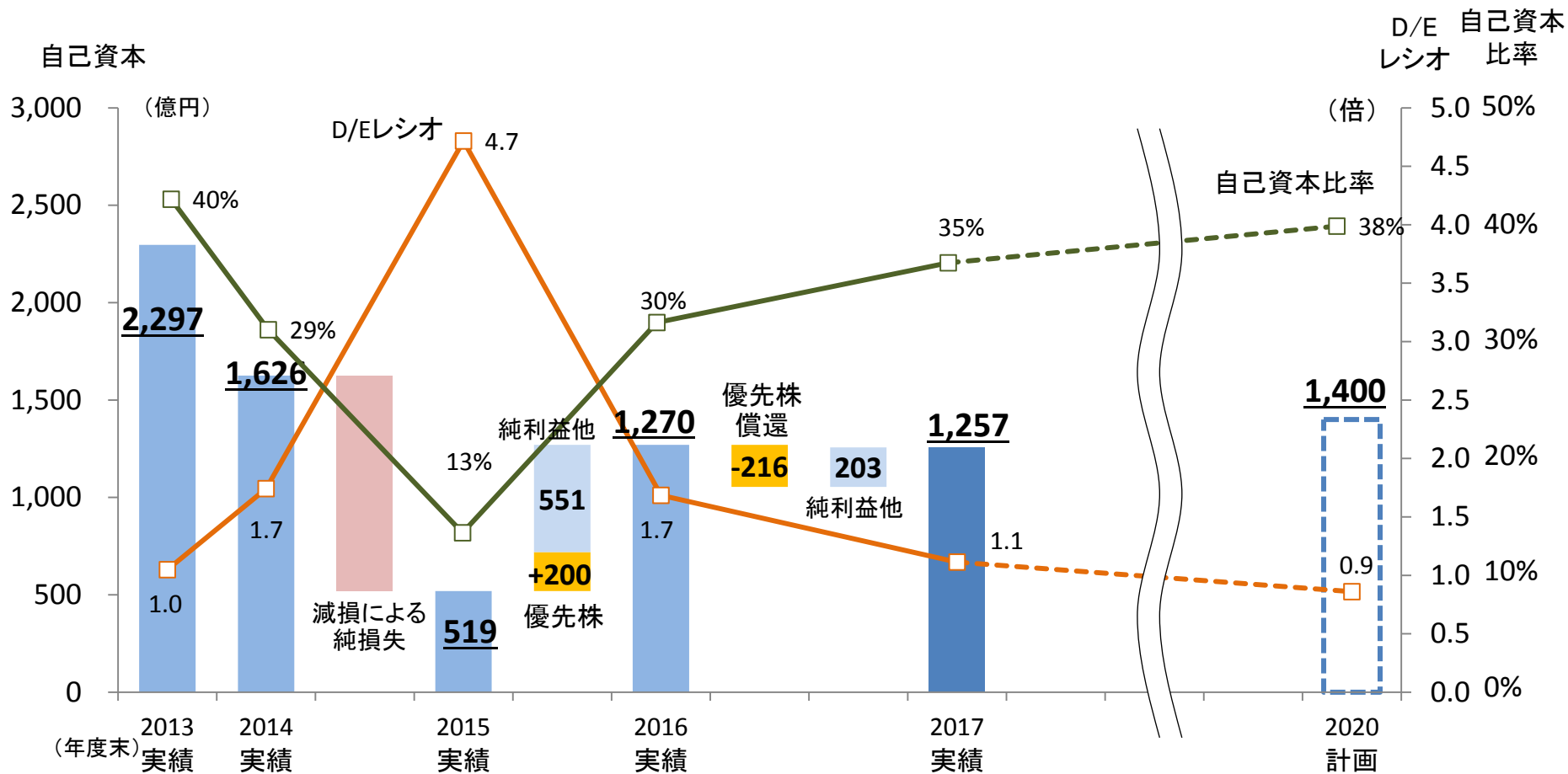
### ■ 原価低減

#### 徳山製造所のコスト削減活動（BRIGHT-II）の推移



# 5. 財務体質改善

自己資本、財務指標の推移



## 6. 配当

### ➤2018年3月期

創立100周年を記念して、期末配当にて記念配当を実施

	中間配当	期末配当(予定)	年間配当(予定)
1株当たり 配当金	10円 (※)	20円 (普通配当 10円) (記念配当 10円)	30円 (普通配当 20円) (記念配当 10円)

(※)2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合いたしました。中間配当は併合後の金額を記載しております。

### ➤2019年3月期

2019年3月期以降、中期経営計画に沿った利益計画の見込み

中間配当、期末配当について、それぞれ25円の配当を予定



Chemistry with a heart

**TOKUYAMA**





## 4 補足資料

1. 成長事業の取り組み
2. 部門別の状況
3. 連結財務諸表(要約)
4. 有利子負債削減
5. 営業外損益・特別損益・金融収支
6. 業績推移
7. 営業利益増減分析
8. 設備投資額・減価償却費推移
9. 有利子負債残高推移
10. フリー・キャッシュフロー推移

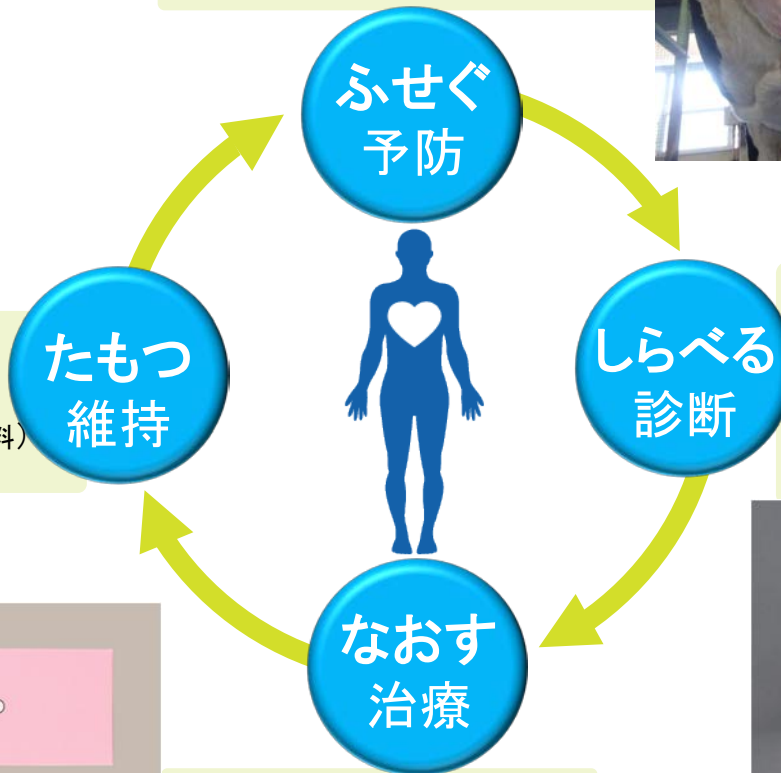
# 1. 成長事業の取り組み

## ヘルスケア関連製品



- OPPフィルム(食品包装材)
- 微多孔質フィルム(紙おむつ材料)

- フотクロミック材料
- 乳牛の乳頭保護材



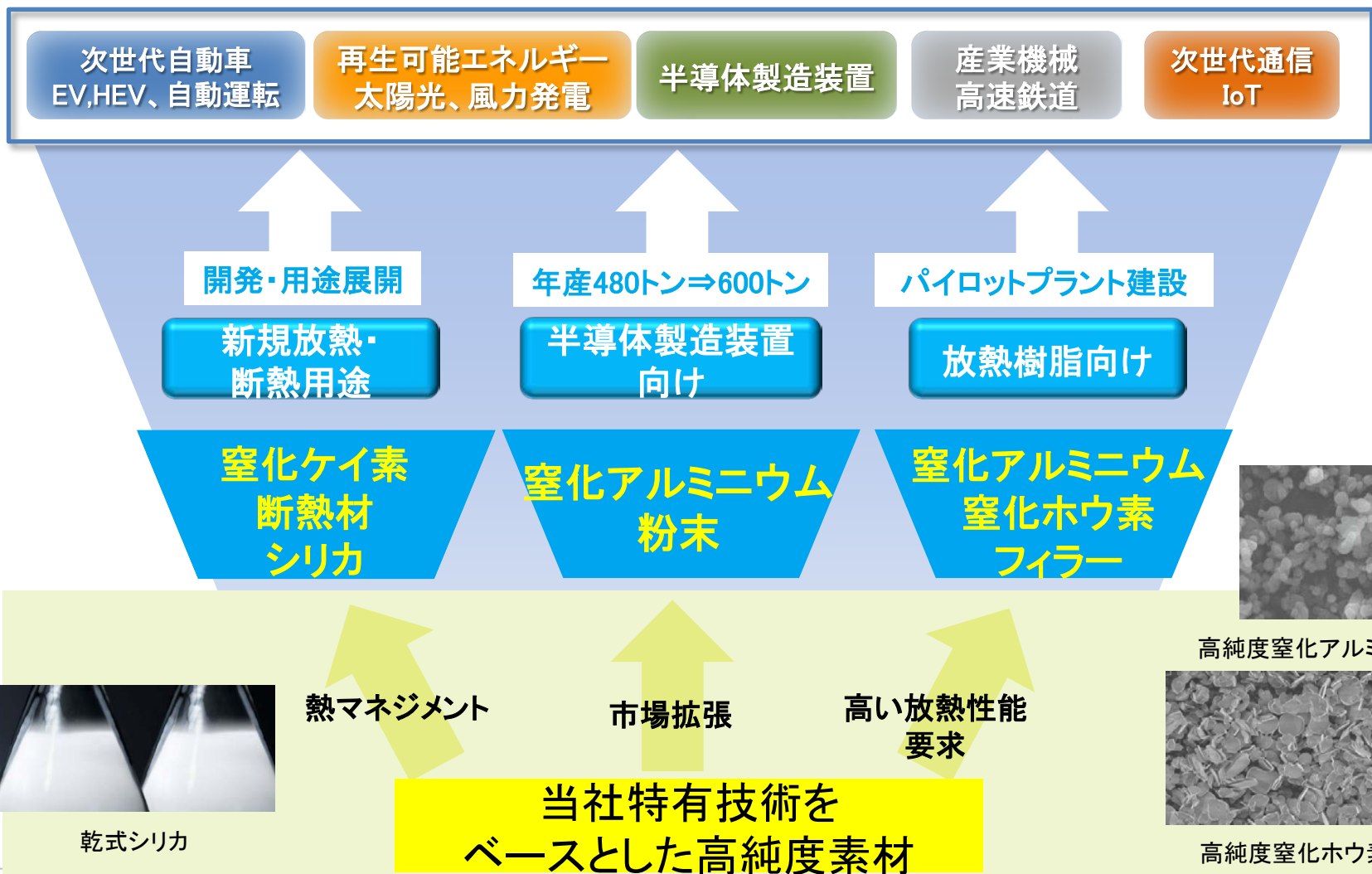
- 医療診断システム
- 臨床検査試薬
- 中性子モニター材料
- 動物医療周辺材料



- 歯科材料
- 医薬品原薬・中間体

# 1. 成長事業の取り組み

## 放熱材事業



#### 4 補足資料

## 2. 部門別の状況(化成品セグメント)

### 施策

- 原燃料コスト増加分の販売価格への転嫁
- 苛性ソーダの輸出数量増加
- 原単位や固定費などの製造コスト削減
- 構内倉庫の活用による在庫の最適化

### 2018年3月期実績

#### 苛性ソーダ

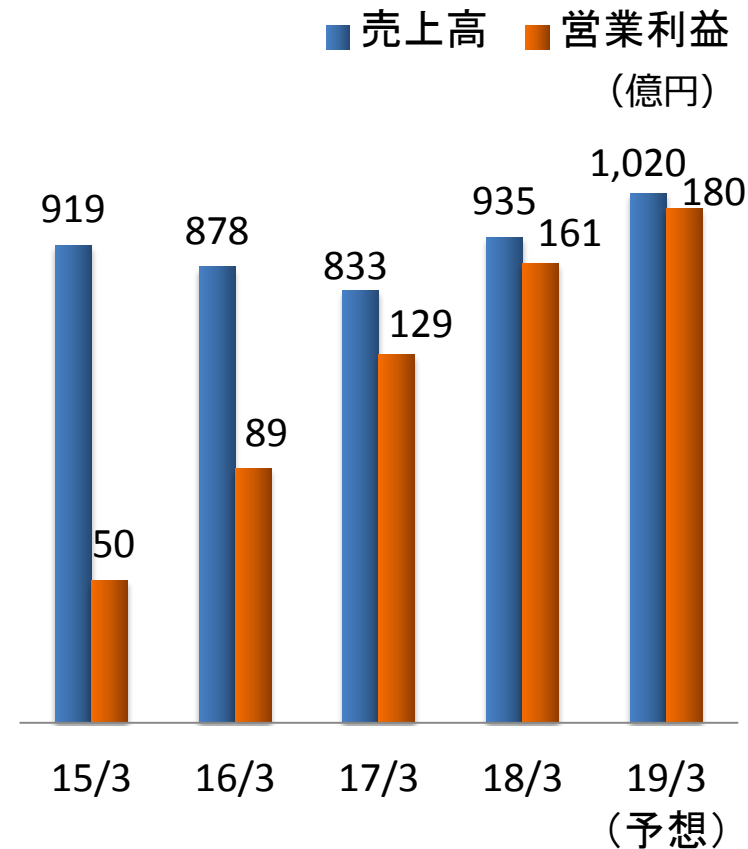
- 価格是正及び販売数量増加により増収

#### 塩ビモノマー

- アジア向けの輸出を中心に販売数量が増加

#### 塩ビ樹脂

- 価格是正により増収



(注) 15/3期、16/3期の営業利益には  
休止部門費の影響額を含んでおりません。

## 2. 部門別の状況(特殊品セグメント)

### 施策

#### <電子材料事業>

- 顧客の性能向上要求に応える技術開発

#### <放熱材事業>

- 製品ラインナップの拡充

#### <ICケミカル事業>

- 生産供給体制の強化

### 2018年3月期実績

#### 電子工業用高純度薬品

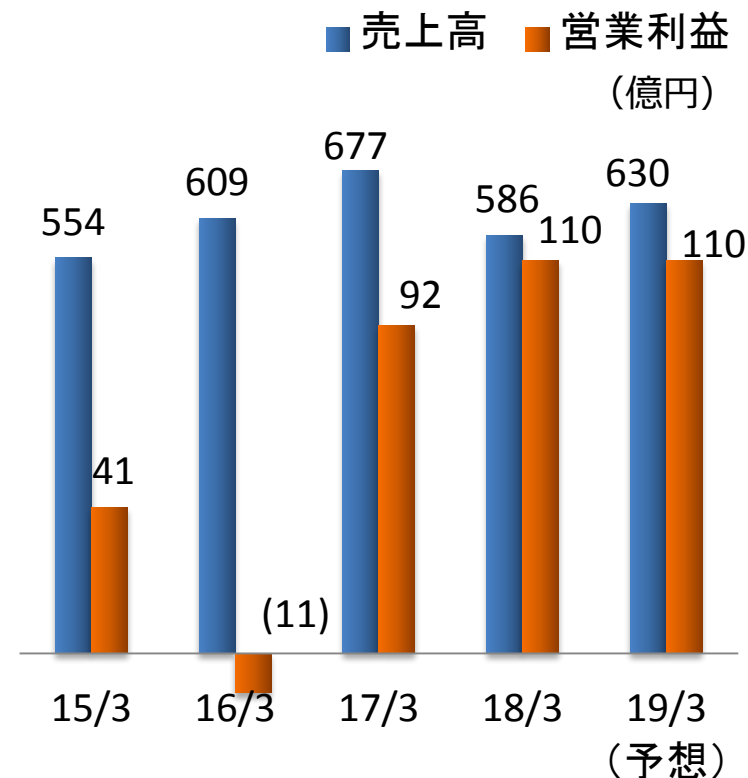
- 半導体製品用途で販売数量が増加

#### 窒化アルミニウム

- 半導体製造装置部材向けを中心に販売数量が増加

#### 多結晶シリコン

- 半導体向けの販売は堅調に推移した一方、トクヤママレーシアの譲渡に伴う連結除外により、減収



(注)15/3期、16/3期の営業利益には  
休止部門費の影響額を含んでおりません。

#### 4 補足資料

## 2. 部門別の状況(セメントセグメント)

### 施策

- 原料コスト増加分の販売価格への転嫁
- 廃プラスチック受入増による石炭原単位削減
- セメントの輸出数量増加による廃棄物受入量の増加
- 廃棄物受入単価の値上げ

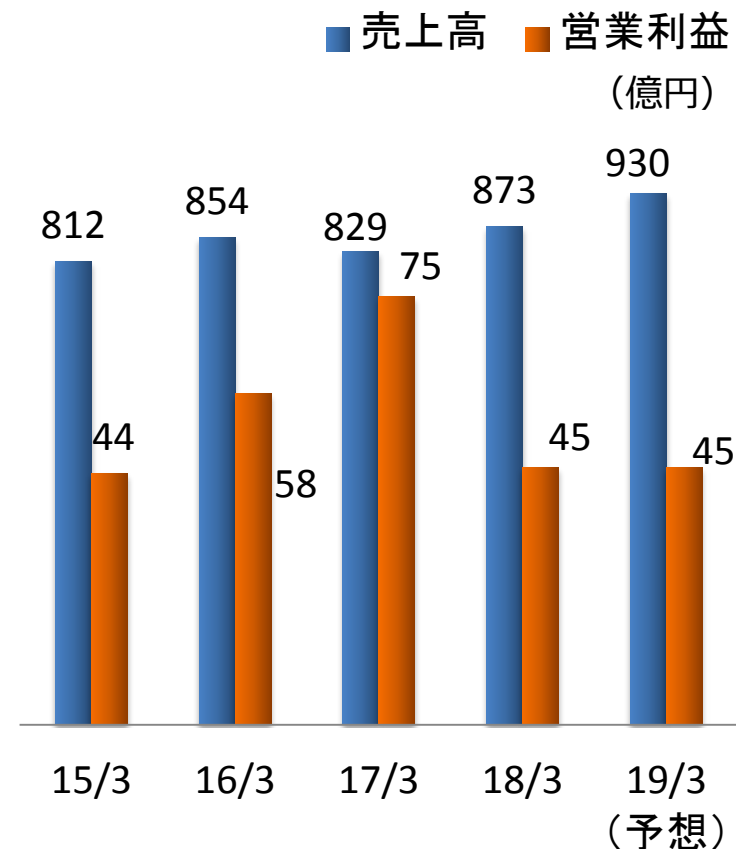
### 2018年3月期実績

#### セメント

- アジア向けの輸出数量が増加
- 東京地区を中心として国内向け販売数量が増加
- 石炭等の原料価格上昇により製造コスト増加

#### 資源リサイクル

- 廃棄物の処理単価が上昇



(注)15/3期、16/3期の営業利益には  
休止部門費の影響額を含んでおりません。

## 2. 部門別の状況(ライフアメニティーセグメント)

### 施策

- 製品開発から上市までのパイプラインの強化
- 開発品の確実な上市による品目数の積上げ
- 海外における生産及び販売の拡大
- 販売パートナーとの緊密な連携による販売数量の増大

### 2018年3月期実績

#### 歯科器材

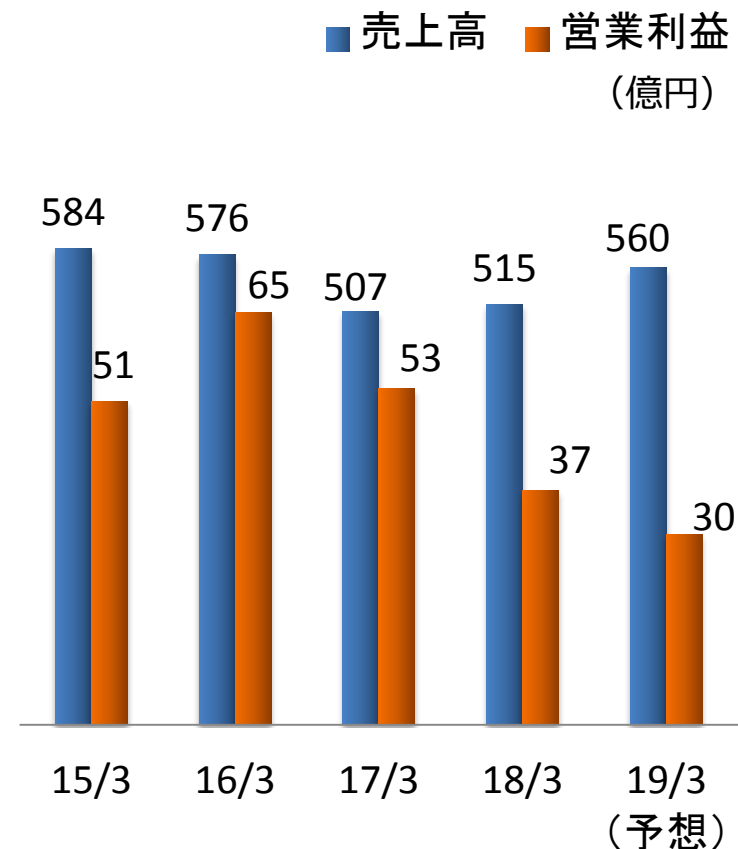
- 新製品や海外向け販売数量の増加

#### イオン交換膜

- 大型案件の受注により増収

#### 医薬品原薬・中間体

- ジェネリック向け医薬品向けの販売数量が減少



(注)15/3期、16/3期の営業利益には  
休止部門費の影響額を含んでおりません。



### 3. 連結財務諸表(要約)

### 損益計算書

(億円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減	
			金額	%
売上高	2,991	3,080	+89	+3
売上原価	2,024	2,077	+52	+3
販管費	580	590	+9	+2
営業利益	385	412	+27	+7
営業外損益	△45	△50	△5	-
経常利益	339	361	+21	+6
特別損益	45	△33	△78	-
税引前当期純利益	385	328	△56	△15
法人税等	△148	75	+223	-
非支配株主損益	12	56	+44	+362
親会社株主に帰属する 当期純利益	521	196	△324	△62

4 補足資料

# 3. 連結財務諸表(要約)

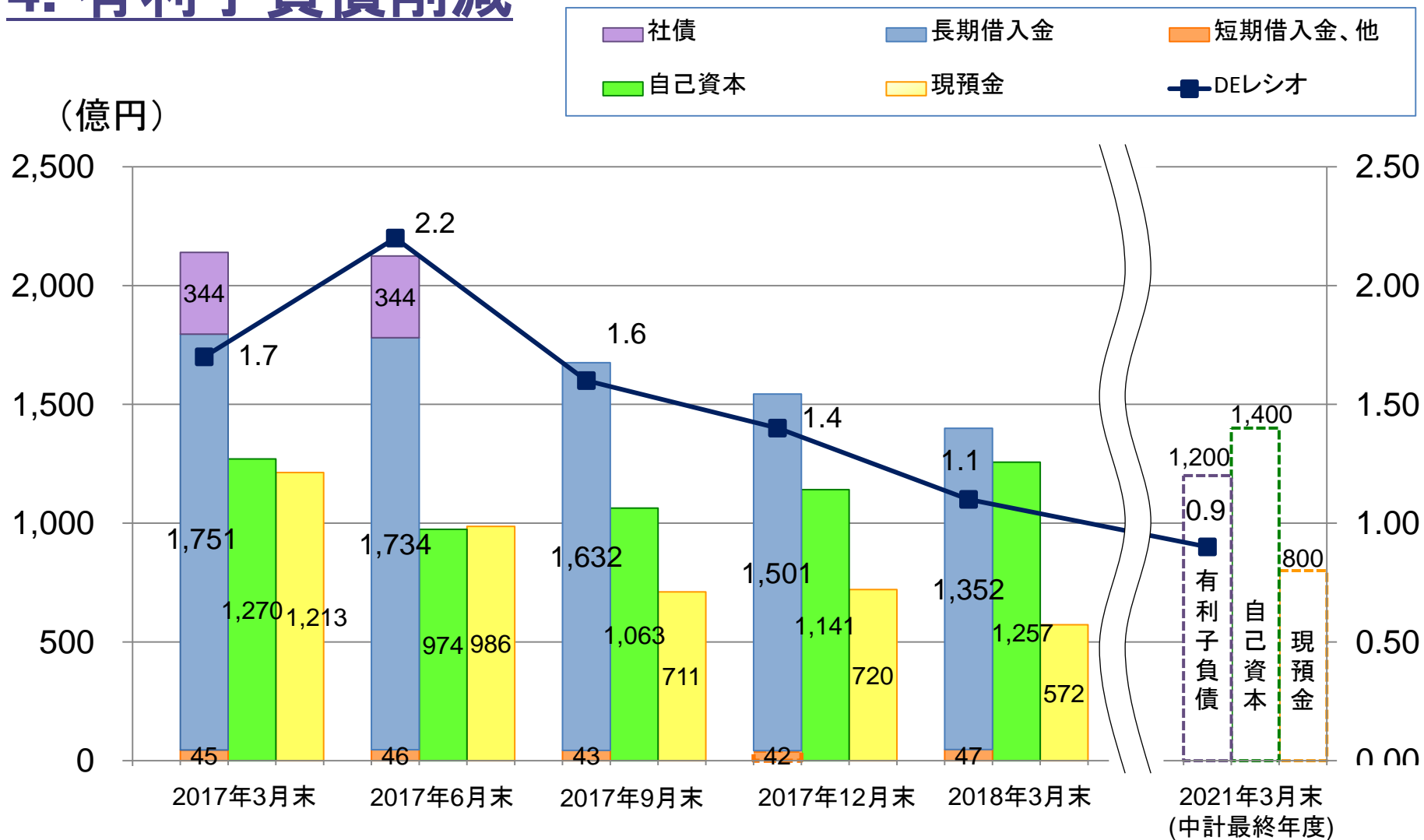
## 貸借対照表

(億円)

	2017年3月末	2018年3月末	増減	
			金額	%
資産合計	4,244	3,619	△624	△15
流動資産	2,466	1,976	△490	△20
有形固定資産	1,192	1,102	△89	△8
無形固定資産	47	27	△20	△42
投資その他の資産	537	512	△24	△5

	2017年3月末	2018年3月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,884	2,253	△630	△22
流動負債	791	930	+138	+18
固定負債	2,093	1,323	△769	△37
純資産合計	1,359	1,365	+6	+0

# 4. 有利子負債削減



4 補足資料

## 5. 営業外損益・特別損益・金融収支

連結（前期比）

（億円）

		2017年3月期	2018年3月期	差損益
営業外収益	受取利息・配当金	3	4	+1
	その他	28	41	+13
	計	31	46	+14
営業外費用	支払利息	42	37	+5
	その他	34	60	△25
	計	76	97	△20
営業外損益		△45	△50	△5

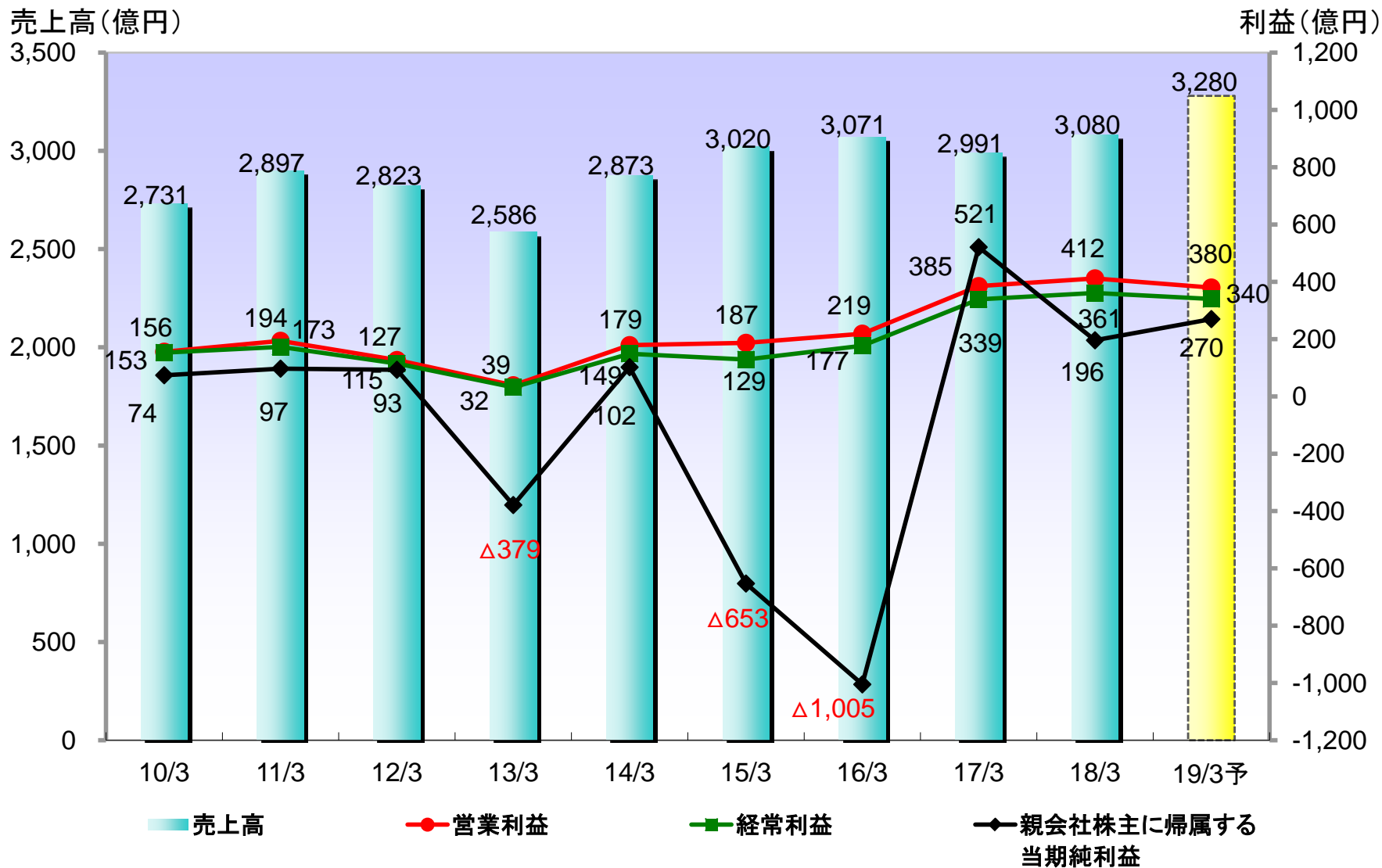
特別利益	73	85	+12
特別損失	27	118	△90
特別損益	45	△33	△78

金融収支	△39	△32	+6
------	-----	-----	----

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

# 6. 業績推移

通 期

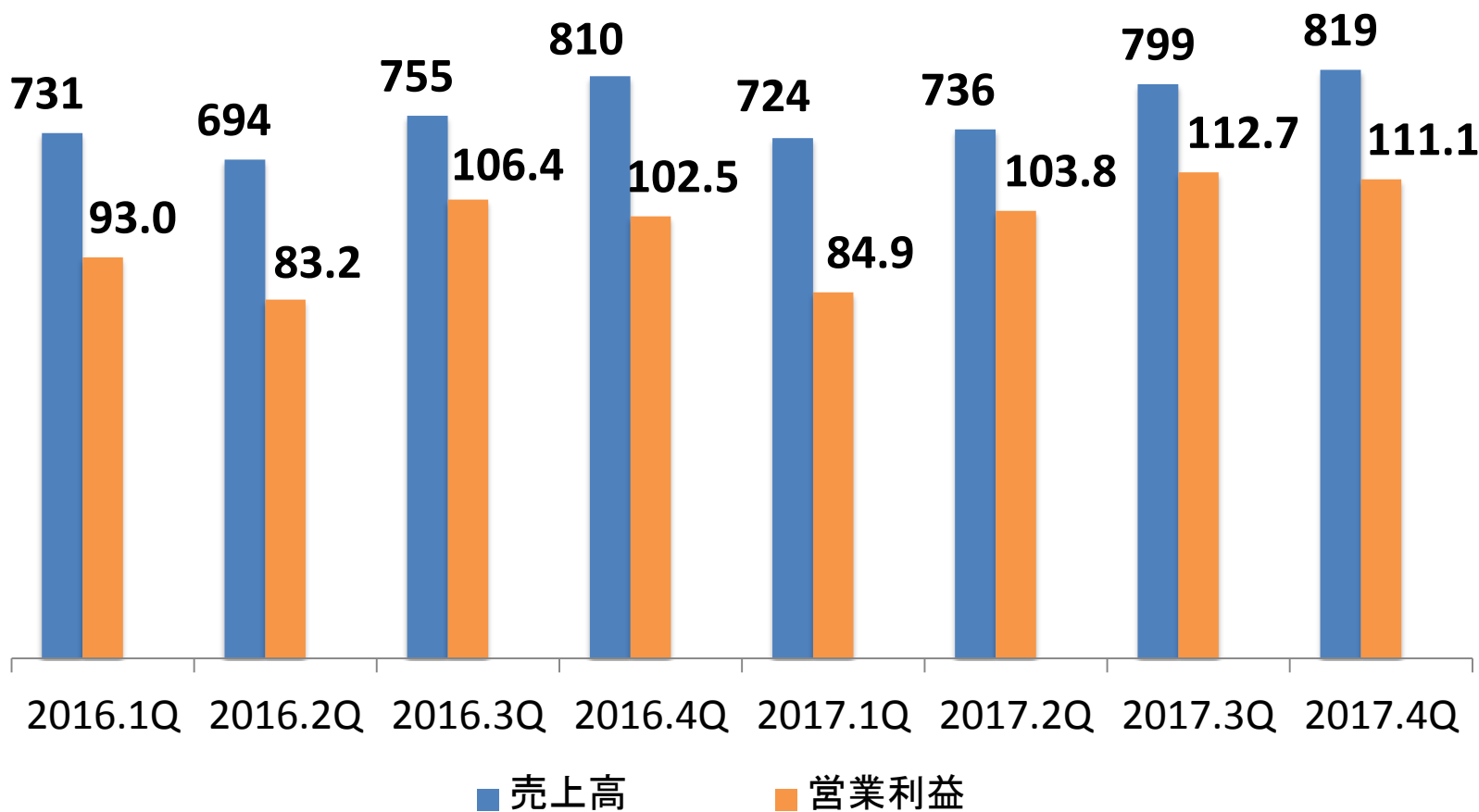


## 6. 業績推移

連結

四 半 期

(億円)

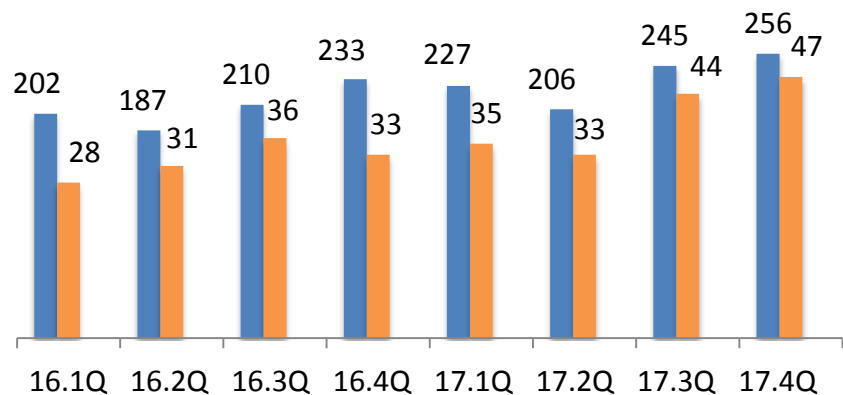


# 6. 業績推移

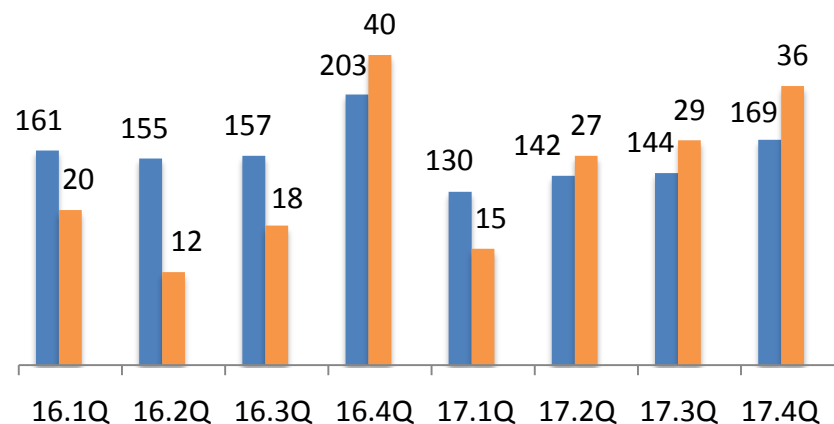
四 半 期

(億円)

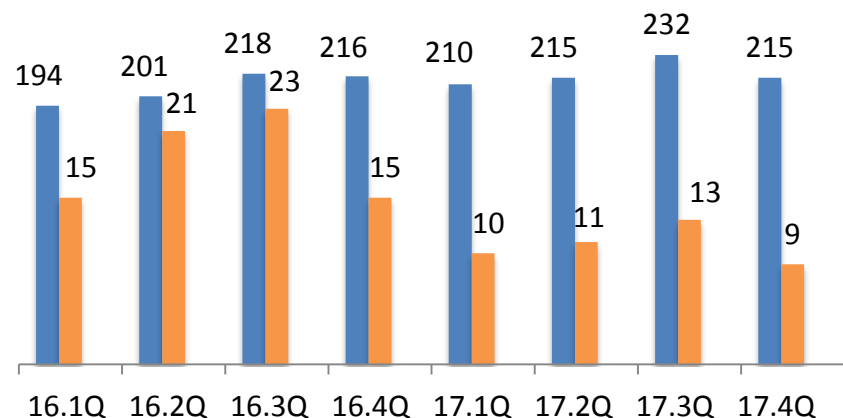
化成品



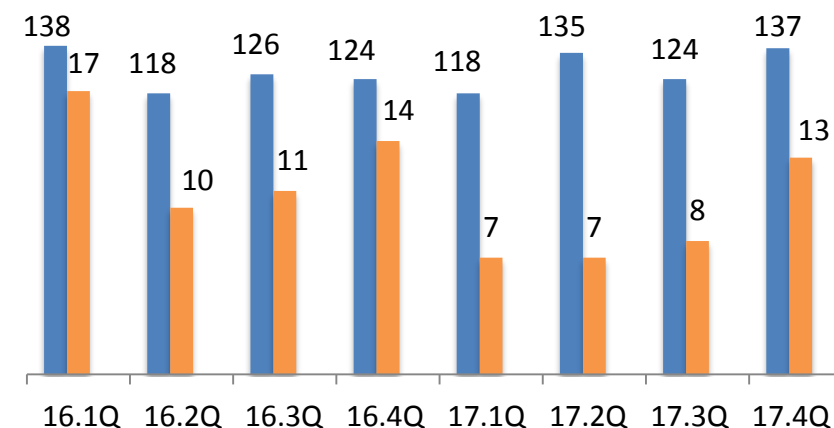
特殊品



セメント



ライフアメニティー



■ 売上高 ■ 営業利益

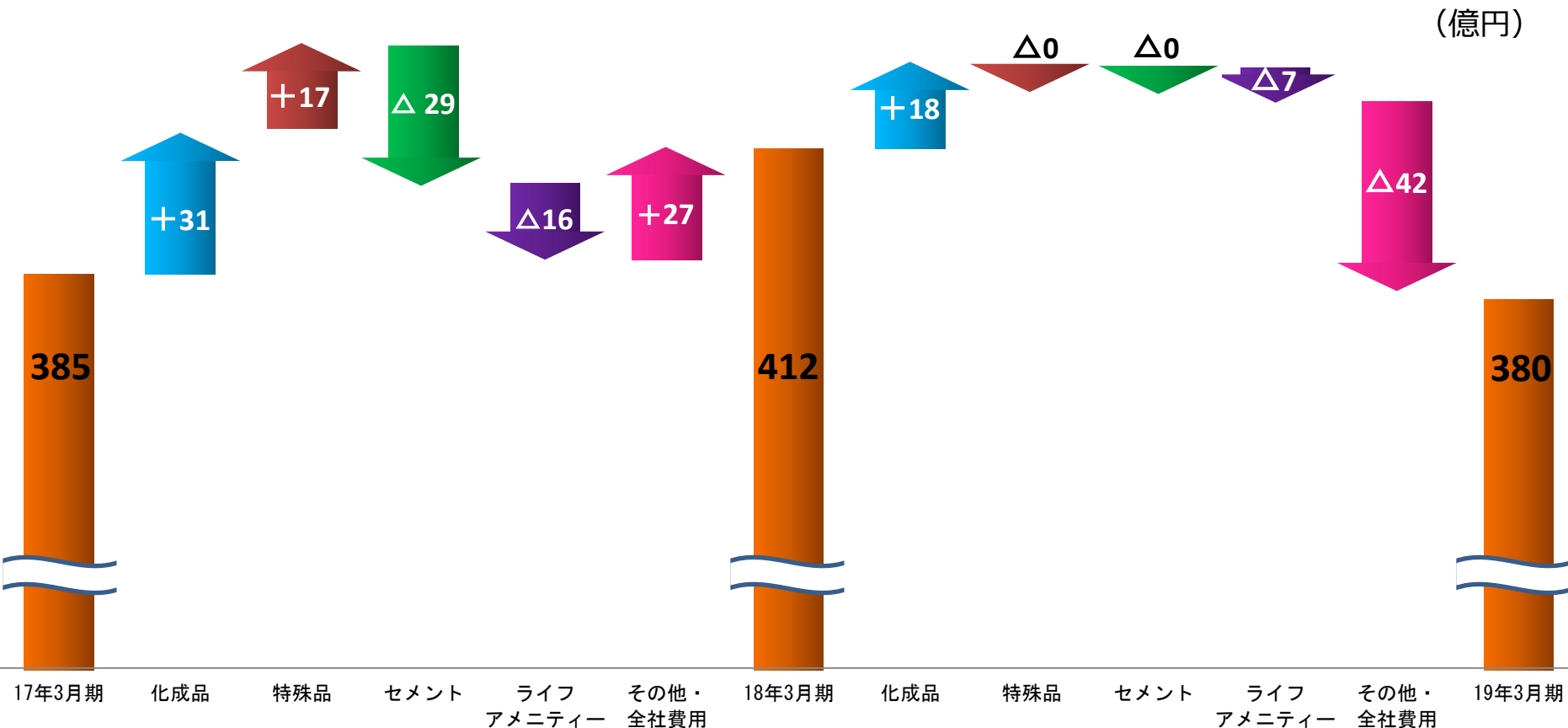
4 補足資料

# 7. 営業利益増減分析

セグメント別

前期実績と今期予想

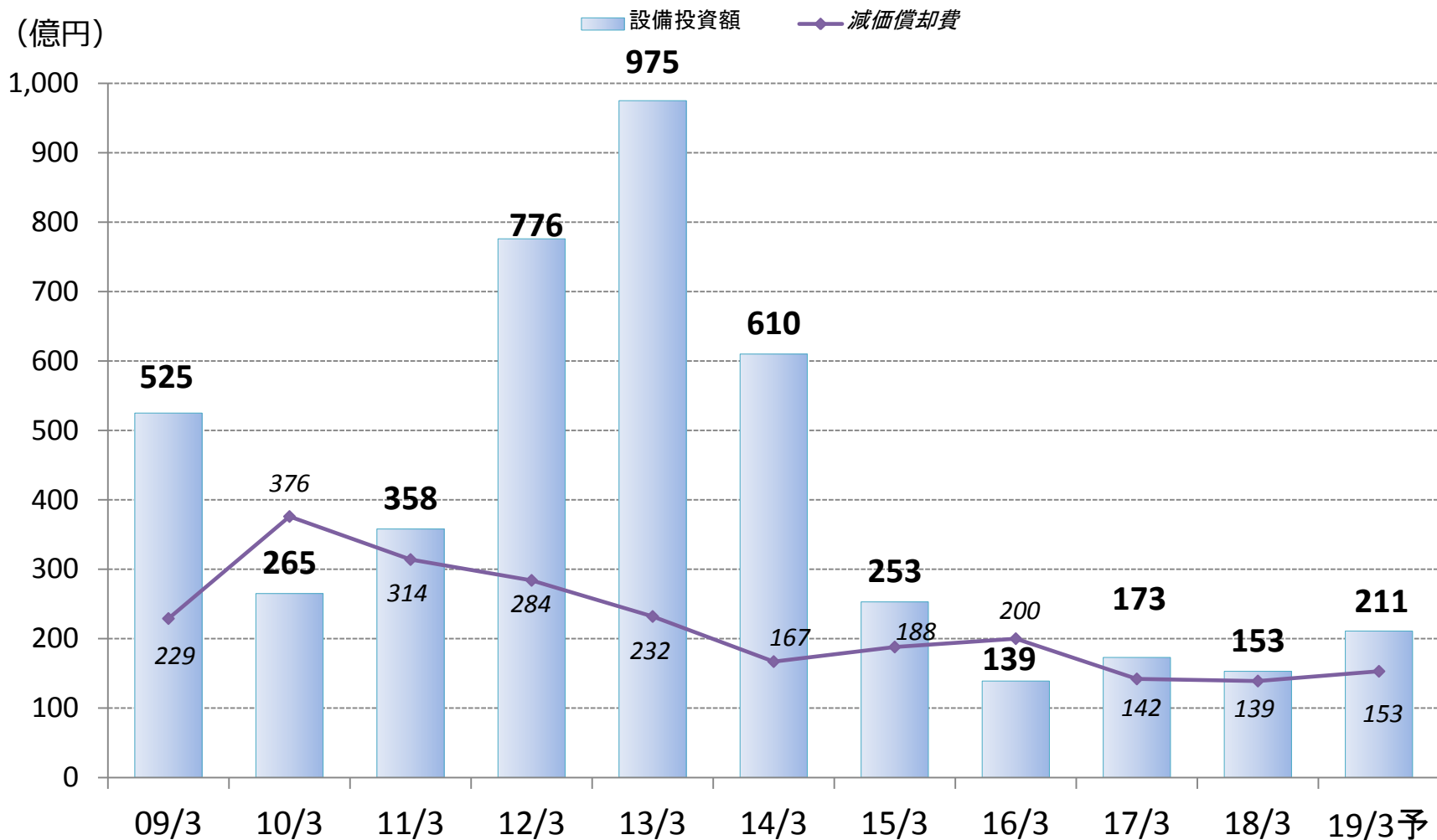
(億円)





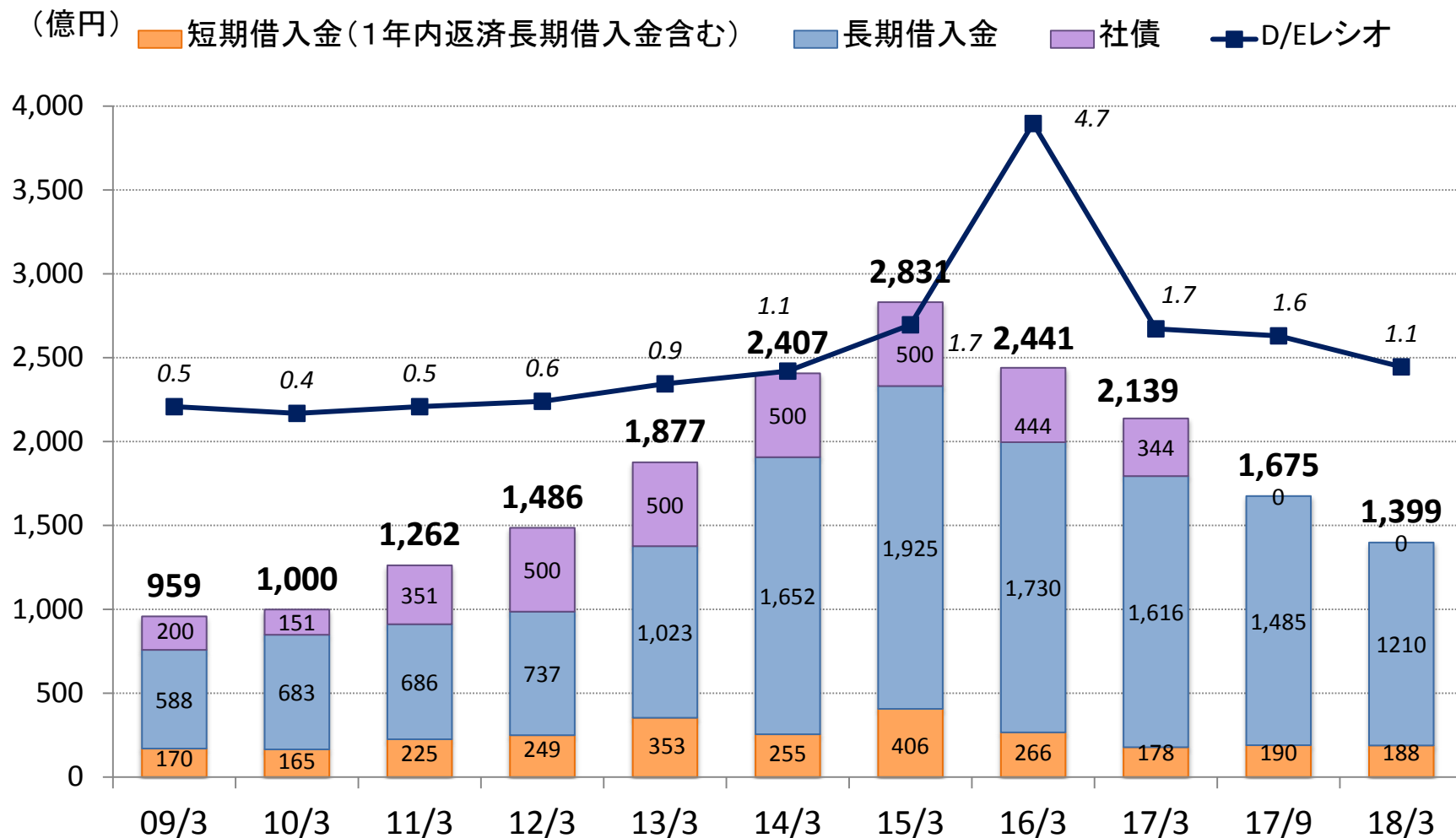
# 8. 設備投資額・減価償却費推移

連 結

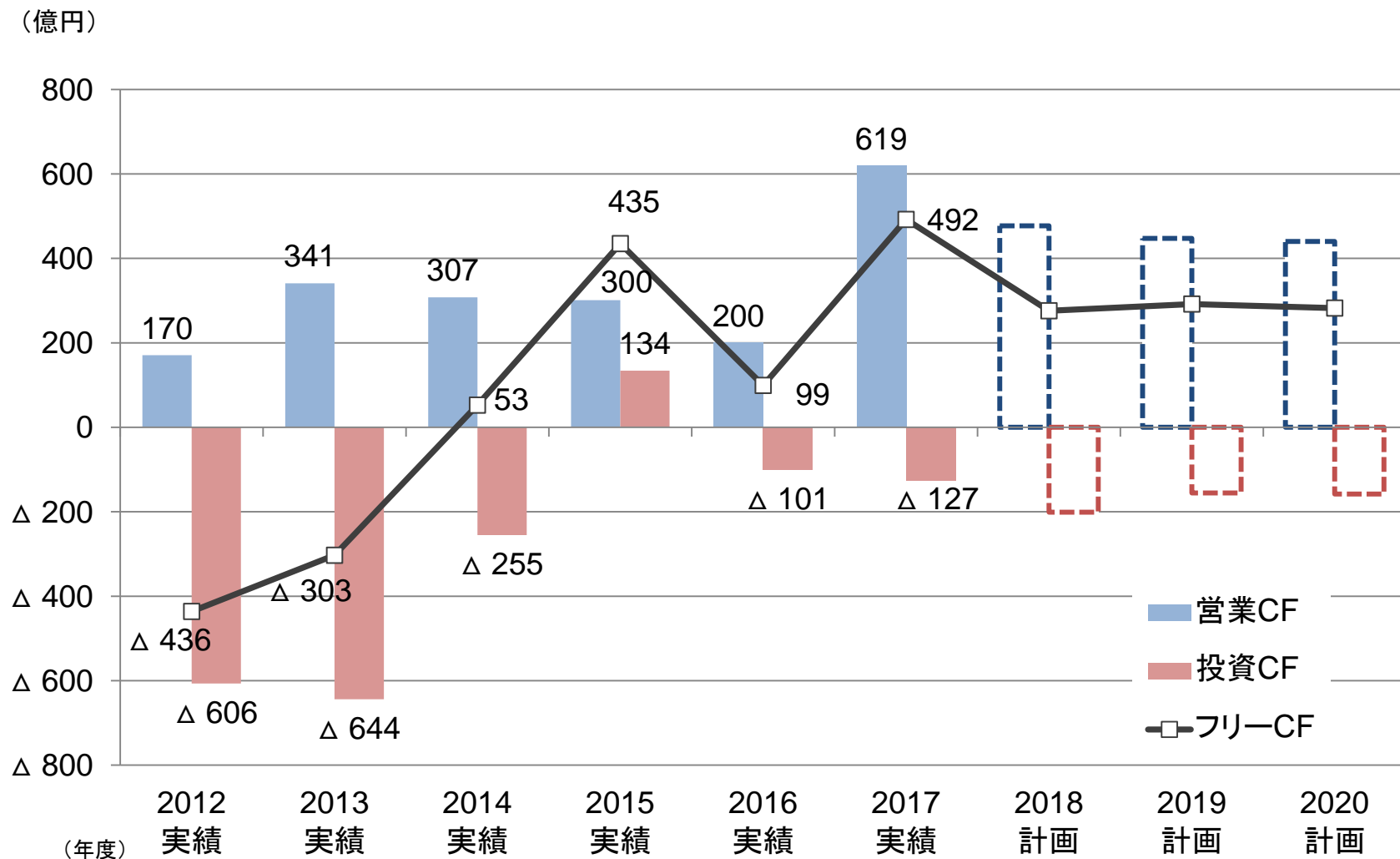


# 9. 有利子負債残高推移

連 結



# 10. フリー・キャッシュフロー推移



# 本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

Chemistry with a heart

**TOKUYAMA**

